

## 授受表現

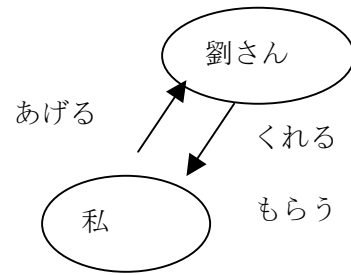
### 1. 「あげる」と「もらう」

(私は) 劉さんにチョコレートあげました。

(私は) 劉さんからチョコレートもらいました。

注) 「私は／私が」は省略してもよい

「劉さんから」は「劉さんに」でもよい。



### 2. 「くれる」を使用する場合

劉さんは (私に) チョコレートをくれました。

注) 「私に」は省略してもよい

### 3. 恩恵の授受表現 (～てあげる、～てもらう、～てくれる)

孔さんに日本語を教えてあげた。

孔さんに引っ越しを手伝ってもらった。

孔さんが中国語を教えてくれた。

#### (1) 物の移動の方向とは関係がない

5時を少し過ぎていたが、申込み書を受け取ってもらった。

#### (2) 物 (所有) が移動するわけではない

急に雨が降ってきたので、友人に傘を貸してあげた。

総務部のパソコンを使わせてもらった。

### 4. 「～てあげる」は目上の人に使えないことが多い

×先輩、忙しそうですね。手伝ってあげましょうか。

×課長、その荷物重そうですね。持ってあげましょうか。

### 5. 使えない授受表現と主語の組み合わせ

×孔さんは、私に中国語を教えてあげた。

△孔さんは、私に手伝ってもらった。

×私は、孔さんに日本語を教えてくれた。

### 6. 「私」以外の場合、身内の者には上記5. の制限があてはまる

△孫さんは、妹にお菓子あげた。

△友人の佐藤が、弟に本もらった。

×部下の田中は、顧客に装置の使い方を教えてくれた。

## 7. 第三者間の授受

王さんは、張さんに本を貸してあげました。

張さんは、王さんに本を貸してもらいました。

王さんは、張さんに宿題を手伝ってもらいました。

張さんは、王さんに宿題を手伝ってあげました。

×王さんは、張さんに電子辞書を貸してくれました。

## 8. 「やる」を使用する場合

弟に宿題を教える。

植木に水をやってください。

## 9. 授受動詞の敬語形

あげる	さしあげる
もらう	いただく
くれる	くださる

大学の先輩にお礼をさしあげた。

職場の先輩にやり方を教えていただいた。

先生が作文を指導してくださった。

## 10. 補足

上記1. で、「劉さんからもらいました」は「劉さんにももらいました」と言ってもよいが、「から」または「に」どちらかしか使えない場合もある。

(1) 国、学校、会社など（組織・団体）からもらった場合、「に」は使えない

会社から時計をもらいました。

×会社に時計をもらいました。

(2) 物や情報の移動がない場合、「から」は使えない

王さんに引っ越しを手伝ってもらいました。

×王さんから引っ越しを手伝ってもらいました。